



建設業退職金共済制度

建設業退職金共済事業広島支部 ☎082-221-0138

平成28年4月1日から建退共の制度が一部変更になりました。
 ①退職金の予定運用利回りが2.7%から3.0%に変更されました。
 ②退職金の不支給期間が掛金納付月数12月未満に緩和されました。(遺族請求は従来どおり12月未満で変更ありません)

■加入できる事業者
 建設業を営む方
 ■対象となる労働者
 建設業の現場で働く人
 ■掛金
 月額310円

建退共制度は、中小企業退職金共済法に基づき建設現場労働者の福祉の増進と建設業を営む中小企業の復興を目的として設立された退職金制度です。
 この制度は、**国の制度なので安全、確実、申込手続きは簡単です。**
 事業者の方々が、労働者の働いた日数に応じて掛金となる共済証紙を共済手帳に貼り、その労働者が建設業界で働くことをやめたときに、建退共から退職金を支払うという、いわば業界全体での退職金制度です。

③被共済者による移動通算の申出期間が3年以内にまで延長されました。
 ④移動通算できる退職金額の上限が撤廃されました。

★建退共から事業主の皆様へのお願い
 ○共済証紙は、労働者の就労日数に応じて適正に貼付してください。

○「建設業退職金共済手帳」を所持している労働者が、建設業界を引退するときは、忘れずに退職金を請求するよう指導してください。



共済手帳見本

共済証紙見本

詳しくは建退共のホームページをご覧ください。左記連絡先までお問い合わせください。
 ホームページ
<http://www.kentaikyoo.taisyokukin.go.jp/>

お問い合わせ先

建設業退職金共済事業広島支部

☎082-221-0138
 FAX082-221-7898

広告

「平成28年度あいサポートアート展」の作品を募集します

社会福祉課 ☎42-5615

県では、障害のある方の芸術活動への参加を通じて、生活を豊かにするとともに、県民の障害への理解と認識を深め、障害のある方の自立と社会参加の促進に寄与することを目的として、あいサポートアート展の開催を予定しています。夢と元気を与えてくれるような、パワーあふれる作品を広く募集します。

■主催 広島県

■応募資格 障害のある方で、県内に、在住、在勤、在学、通所されている方(グループを含む)

※最終日の消印有効
 8月1日(月)～9月9日(金)
 ■応募期間
 8月1日(月)～9月9日(金)
 ■応募先・搬入先・お問い合わせ先
 あいサポートアート展事務局
 〒730-0013
 広島市中区八丁堀11-28
 株式会社広島朝日広告社
 あいサポートアート展
 ☎082-228-0131
 FAX082-221-1718

「舞え! KAGURA姫」700人を超えるエキストラが神楽ドームに大集合!!



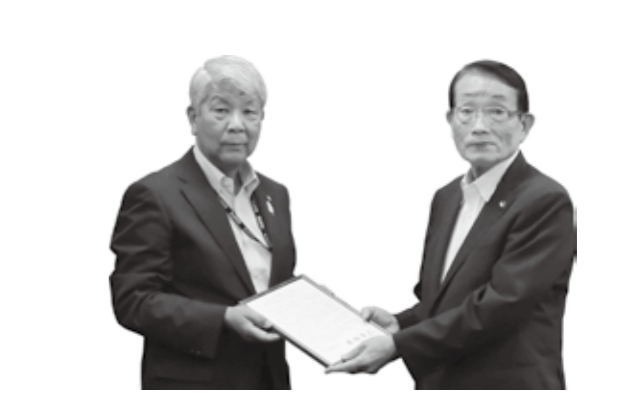
6月18日(土)、神楽をテーマにした青春エンターテイメント・ドラマ「舞え! KAGURA姫」のロケが神楽ドームで行われ、市内外から700人を超えるエキストラが参集しました。

特に家族連れも多く、出演者の演技を楽しく観賞しながら長時間のドラマ撮影は順調に進んでいきました。
 ロケに先立ち、出演者を迎えるの取材会があり、ヒロイン役の葵わかさんから、「高校生の神楽甲子園」参加者に対し応援のメールも贈られました。
 ドرامは、11月30日(水)午後10時から、NHK・BSプレミアムにて全国放映されます。

第66回 “社会を明るくする運動”

社会福祉課 ☎42-5615

「社会を明るくする運動」は、すべての国民が犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない地域社会を築くため、法務省の呼びかけにより毎年7月を強調月間として全国的に繰り広げられています。運動を推進するために、7月4日(月)、安芸高田地区保護司会から浜田市長に、内閣総理大臣からのメッセージが伝達されました。



農業用水路、ため池等での事故防止のお願い

農林水産課 ☎47-4022

■子供たちには遊び場でも：近年、農業用水路やため池などへの転落事故等が発生し、かけがえない命が失われています。農業が盛んになる時期には農業用水路やため池の水位が高くなり、大変危険な場所となります。また、河川内の農業用の堰(頭首工)、揚水ポンプなどの施設も、転落や感電の恐れがあり、子供たちやお年寄りにとって大変危険な施設です。

■事故を防ぐためには
 ・関係者以外が農業用水路等の施設に近寄らない。
 ・ご家庭や地域で注意喚起をする。
 ・除草し、事故防止を行う。
 ・立入禁止看板を設置する。
 ・施設する。
 日常の維持管理の中で出来ることもあります。
 農業用水路やため池等の施設は農業を行う上で欠かせない重要な施設であるとともに、危険な施設でもあります。皆様ので事故を防止しましょう。